

高信頼性ICタグ

耐熱ICタグは放射能にも強い

ICタグを高温環境下にさらすと、200°C以上でメモリが消えていきます。これは、メモリ情報がきわめて薄い膜に電荷を蓄えたり、微妙な物性の違いを利用しているためです。

このような微細なメモリでは加熱により物性が不安定になり、メモリ情報が消えていきます。もし、460°Cに長時間もつメモリのICタグが実現できたらそれは画期的なことです。

日光、紫外線、エックス線、アルファ線、ベータ線、ガンマ線、電子線といった各種のラジエーションエネルギーも微細なメモリに大きな影響を与えます。

このようなラジエーションエネルギーは、洗浄、医療、防衛、宇宙の環境下でICタグを使おうとすると大きな課題をICタグにつきつけます。

ICタグが460°Cのような高い温度に耐えることは、当然、放射能に強いICタグが実現できることで、洗浄用途、医療用途、防衛用途、宇宙用途に大変好ましい特性となります。